

名称	三機テクノセンター
場所	神奈川県大和市中央林間 7-10-1
施設の概要	<p>三機テクノセンターは、三機工業グループの創立 100 周年長期ビジョンのなかの最初のテーマとして掲げられている「技術と人を磨くことによる「質」の向上」の戦略拠点として、2018 年 10 月に開設された。</p> <p>技術・技能部門としての 3 エリアと、その機能・特徴。</p> <p>① 技術・技能研修エリア：実際の施工現場を再現し、実機が置かれており。実践的な研修が行える。スケルトンの他、間違え探し（全く同じ正・誤（150 か所）の設備がある</p> <p>② 安全体感エリア：危険を体感しながら安全管理の重要性を学ぶことができる 研修内容は「研修内容」のとおり</p> <p>③ テクノプラザ：三機工業の技術紹介エリア。アメニティ（快適性）、インダストリー（産業）、エコ&amp;エナジー（省エネ）、エンバイロメント（環境）のエリアがある。優れた技術が紹介されているが、最も興味を持ったのは、日本酒の雪室熟成でした</p> <p>本センターは、宿泊施設があり、大和市と帰宅困難者受け入れ協定を締結している。また、当日は、雨で見学できなかったが、一般公開されている「三機環境園」があり、土があり、また、緑も多いことから、近くの保育園児が遊びに来るそうだ</p>
研修内容	<p>安全体感エリア</p> <p>不安全状態、不安全行動をチェックし、災害を起こさない意識をいかに持つかをテーマに疑似体感を経験する。五感で感じて、心に刻む、がキャッチフレーズである。</p> <p>① エリアの入り口では、マネキン「新人くん」の身だしなみや保護具のチェックを行う。いろいろな目線で議論していくことも重要であり、相互チェック、グループ討議を行う</p> <p>② 切れ・こすれ：原因・予防策・災害が起きないように作業手順が提示され、保護具を体験できる</p> <div data-bbox="395 1370 727 1953"> </div> <div data-bbox="753 1370 1085 1953"> </div> <div data-bbox="1110 1370 1455 1953"> </div>

- ③ 感電：汗をかいていると感電を起こしやすいことが体験できる。なお、作業員は常に検電器を持っている
- ④ 墜落：脳の硬さ（強さ）は、かぼちゃ、頭蓋骨は、植木鉢に例えられる。実際に植木鉢の破壊がみられる。ハーネス体験もできる



⑤ VR :



可搬式作業台、開口部及び足場点検での墜落・転落の疑似体験ができる。VRは、びっくりしたことだけしか覚えていないことが多い。ここでは、作業内容を採点するとともに、第三者目線で見ることができるよう、リプレーも行う。建設業労働災害防止協会のVRワーキングチームと情報交換。また、コンセプトを提供し、販売も行っている。

VRは、作りこみに1年半くらいかかるとのこと。今回は、事件の関係で、社員の体験状況の見学となった。周りで見ていると覚えて点数が上がることもあるそうで見せないという会社もあるそうだ

研修の最後は、卒業試験である。

不合格の場合は、追試がある。合格すれば、卒業で、安全宣言で安全の樹を育てていく。安全宣言にメールアドレスを記載すれば、リマインダーされる。

また、シトラスの香りがする。違う場所でも、シトラスの香りがすると、体感した安全教育を思い起こすそうだ。今回は、見学しなかったが、石綿、酸欠・有機溶媒、心肺蘇生などもある

	
<p>今後の展開</p>	<p>現在の施設の稼働率は、50%であり、更に、リニューアル、拡張していくとのこと。社員の他、協力会社、同業他社にも公開している。</p>
<p>見学日</p>	<p>2019.6.11 三谷（記事、写真）</p>